平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	5	ー	47

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	社会福祉協議会補助事業					
評価者	担当課名		保健福祉課	担当係名		社会福祉係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	山 崎 佳 之		氏名	渡 部 憲 一
事業の概要	地域福祉活動の中核的な役割を担っている雄武町社会福祉協議会の組織強化、運営基盤の安定を図ることを目的として、事務局職員人件費の一部を補助する。					

全体計画	/単年度繰返	
（平成 20 年度～ 24 年度）		
事業費	国・道支出金	千円
	地方債	千円
	その他	千円
	一般財源	15,000 千円
	事業費計	15,000 千円

実施方法	■	直営		民間委託		その他（　　）
第５期総合計画（前期）	■	登載事業		非登載事業	優先度	B

事業の位置付け	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～
	基本施策	10	地域福祉の推進
	単位施策	1	福祉意識の醸成
	事務事業の種類	■	自治事務
			法定受託事務
	その他計画・根拠等		雄武町社会福祉法人の助成に関する条例

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	6,000 千円
	合計	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	6,000 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	雄武町社会福祉協議会
【抱える課題やニーズは】	急激な高齢化社会にあって、介護や福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、住民からの相談ニーズが多様化している。
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	多様なニーズに対応するため、地域福祉の組織的な担い手である雄武町社会福祉協議会における活動の充実と強化を図る。
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	地域福祉の課題解決に向けた取り組みを強化することで、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉を実現する。

望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）

活動の充実と強化

指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
① 人件費一部補助	目標年度	平成23年度
	目標値	3,000 千円
	実績値	3,000 千円
	達成度	100.0 %
②	目標年度	
	目標値	
	実績値	
	達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
①雄武町社会福祉協議会の運営費補助	雄武町社会福祉協議会の事務局職員人件費の一部を補助した。

3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	行政だけでは解決できない諸問題が近年増えており、こうした問題に対し地域の実情に応じた福祉づくりを進めることを目的とする民間の自主的組織が社会福祉協議会であり、その活動の充実と強化のための支援は必要性が高い。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	福祉サービスの円滑な執行のため、事業等の調整を行っている事務局に対する支援は有効である。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	雄武町社会福祉協議会の事務局職員人件費の補助を行い、組織運営を支援した。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	社会福祉協議会の活動は、地域住民全般に係る福祉向上を目的としていることから公平と考える。

4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
地域福祉の組織的な担い手である社会福祉協議会の運営基盤の安定と活動の強化と充実を図ることは町民の福祉向上に寄与しているものであり計画どおり進めることが適当である。	同左	

今後の展開方向
（Action）

継続／内容の見直し・変更	**継続／拡充**	
社会福祉協議会の組織運営支援として人件費補助は必要と考え、組織の効率的な運営を求めながら、適切な支援を行う。	同左	

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）